



2019年9月号

セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆さまへ

米中貿易戦争はいまだ決着が見通せず、とうとう全面懲罰関税化へと及ぶに至り、世界の金融市場の値動きは急激に大きくなっています。

マーケットの関心はその長期化が实体经济へ与える悪影響への懸念であり、まず過剰反応したのが債券市場でした。米国では景気後退へのサインとされる、長期金利が短期金利の水準を下回る「逆イールド」が定着しつつあり、欧州でも日本でも短期から長期までがマイナス金利に沈む金利消滅状態へと歴史上未体験ゾーンが現出しています。それを嫌気して株式市場も大きく下落したあと、大きな振幅で上下を繰り返して8月を終えました。

ここ数年世界をけん引して来た米国経済はまだ堅調さを保っていますが、リーマンショック以降10年超続いた景気拡大局面は最終段階にあり、ピークアウト時期が近付いているとして、市場はさらなる利下げを催促する相場状況と言えましょうか。欧州でもドイツを筆頭に景気減速感が強まっているうえに、英国がEUから合意なき離脱となる可能性も高まっていて、世界経済全体の成長軌道は一定の鈍化が織り込まれる状況になって来ました。この数年間総じて右肩上がり相場だった株式市場もグローバルに調整期入りを想定すべき時にあるのでしょうか。マーケットの調整局面は長期投資家の忍耐力が試されます。多くの投資家が周りで続々と心折れて投資から降りて行くであろう中で、ここぞ我らの出番としてコツコツと下落トレンドを買い手に回り、同じリズムで進み続けられる胆力が長期投資の将来成果を大きく左右する時なのです。

「セゾン号」は多くの真面目な長期投資家が乗り込む本格的長距離列車です。目先の値動きに翻弄されず、決して投資行動を変えることなく、より割安な対象を仕込んで次の回復局面到来に備えるわけで、乗客の皆さまにも今までと同様、積立投資をどっしりと続けながら、将来の果実を大きくする糧を育む時期と捉えて進んでいただきたいと思います。とは言え、米日欧先進国が景気下支えの財政投入へと動く、或いはトランプ大統領が対中方針を緩める、などなど良くも悪くも不確実な要素が多くあり、明日のマーケットの動きは当てられません。確信的に見るべきは、地球経済の長期的な成長軌道であり、巡行速度は変わってもその軌道が途絶えるわけではありません。相変わらず将来の経済的自立に向けて、ゆったり泰然と進んでまいりましょう！

代表取締役社長 中野 晴啓

ご留意事項

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託に係るリスクや費用等は、それぞれの投資信託により異なります。投資元本の保証はありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

委託会社: セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口: 03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

セゾン・バンガード・ グローバルバランスファンド

8月の市場動向

株式

金融緩和策への期待は高まっているものの、米国と中国の貿易摩擦の深刻化による景気減速懸念が高まり下落

米国と中国の貿易交渉に進展が見られず、互いに追加関税の発動を表明したほか、自国の輸出競争力を高めることを目的とした通貨の引き下げ競争が行われることへの警戒が強まったことを受けて、貿易が縮小して経済活動が停滞することへの懸念が一段と高まり、下落しました。

債券

米国と中国の貿易摩擦の深刻化による景気減速懸念が高まったことを受けて安全資産としての需要が高まって上昇

米国で政策金利のさらなる引き下げへの期待が高まったほか、ユーロ圏でも金融緩和の拡大観測が広がるなかで、米国と中国の貿易摩擦が深刻化して経済活動が停滞することへの懸念が一段と高まり、安全資産としての需要が高まったことを受けて上昇しました。

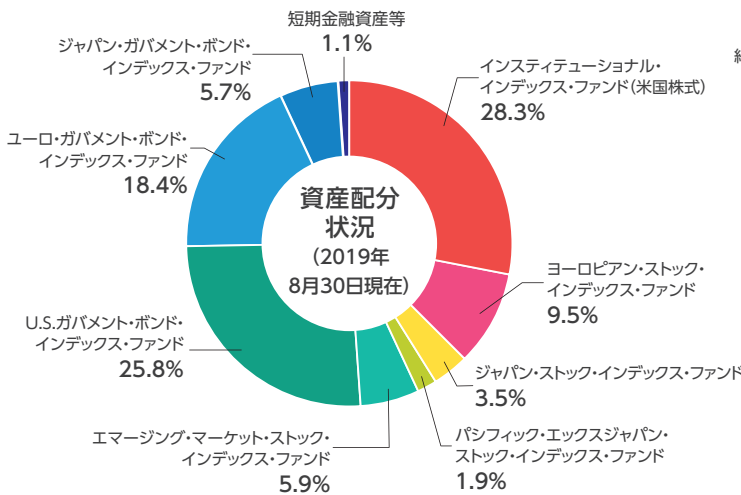
為替

主要国通貨が堅調に推移するなかでユーロが対ドルで小幅に下落。円は上昇し、対ドル、対ユーロで円高

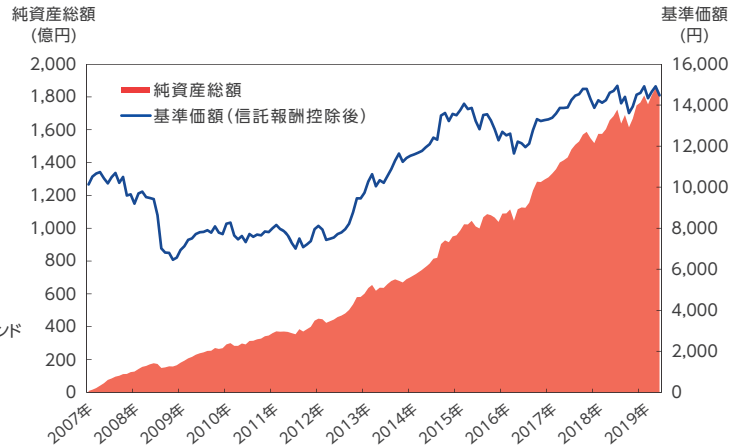
先行きへの不透明感が広がり、リスクを避ける動きが強まったことを受けて新興国通貨が下落する一方、主要国通貨が堅調な動きとなりました。そのなかで域内景気の先行きに不透明感が高まったユーロはやや力強さを欠く動きとなり、資金逃避先通貨とされる円が上昇しました。

基準価額と純資産総額及び騰落率(2019年8月30日現在)

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
14,484円	1817.8億円	44.84%	-2.86%	-0.14%	-1.40%



基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次)



8月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、株式・債券比率のリバランスを目的として債券ファンドの売却と株式ファンドの購入を行ったほか、定期積立プランなどのご購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、株式ファンドの購入を行いました。

ファンドマネジャーからの一言

今月は、債券に投資するファンドが全て上昇したものの、株式に投資するファンドが全て下落し、投資先ファンドが基準価額の下落要因となりました。為替は、対ドル、対ユーロで円高となり、基準価額の下落要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は下落しました。

当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆さまの長期的な資産形成に資することができるよう努めて参ります。

運用部長 瀬下 哲雄

図1 8月度の投資先ファンド価格の変動による影響

※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

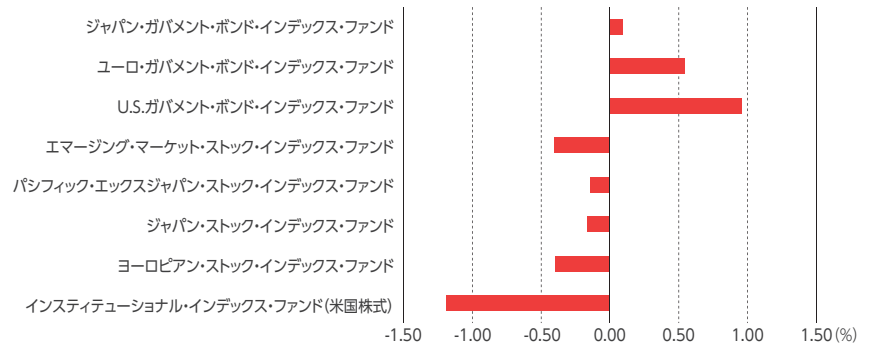


図2 8月度の為替変動による影響 ※月末の投資比率に基づく概算値



※変動要因については、右側の図1、図2もご参照ください。

※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

※詳細はセゾン投信HPに掲載しております「運用レポート(詳細版)」をご覧ください。

当ファンドに係るリスクについて

◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド(以下、当ファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としております。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は、市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受けます。〔価格変動リスク〕また、当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。〔為替変動リスク〕その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

◆その他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

当ファンドに係る費用について

◆投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料:ありません。
- 信託財産留保額:換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○運用管理費用:ファンドの日々の純資産総額に年0.4968%(税抜0.46%)の率を乗じて得た額とします。(※消費税率が10%になった場合は、年0.506%になります。)その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.60%±0.02%(税込/概算)となります。(※消費税率が10%になった場合は、年0.61%±0.02%(税込/概算)となります。)

※ファンドの規模に応じて変動する場合があります。

○その他費用:信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用(有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬(消費税含む)、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む。)および「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社および承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. およびVanguard Investments Japan, Ltd. より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. およびVanguard Investments Japan, Ltd. は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)